

# やまがた認知症カフェ通信 2018 9月号

平成30年9月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

## ～特集～ 山形県認知症施策推進行動計画の概要

### 基本目標② 医療と介護分野の対応力の向上及び連携の強化について



今回は前号に引き続き、山形県認知症施策推進行動計画において、基本目標の2つ目の柱である「医療と介護分野の対応力の向上及び連携の強化」について紹介します。

#### ◆ 認知症の容態に応じたケアの流れの確立及び充実強化

厚生労働省が立ち上げたプロジェクトチームにより平成24年6月に報告された「今後の認知症施策の方向性について」によれば、今後目指すべき基本目標として、「ケアの流れを変える」ことが打ち出されています。

これは、認知症の症状が悪化してから医療機関を受診し、その結果、長期入院・入所せざるを得なくなるということが少なくなかったこれまでの認知症ケアの流れを改め、早期診断・早期対応を軸として、容態の変化に応じて医療・介護のサービスが切れ目なく提供されるための標準的な流れ（認知症ケアパス）に沿ったケアを確立しようとするものです。これを実現するためには、本人や家族に寄り添い、医療・介護のサービスを利用できるよう関係機関との調整を行うことが重要となります。この役割を担うのが、市町村が配置する「認知症地域支援推進員」です。現在、「認知症地域支援推進員」は全ての市町村に配置されておりますので、お住まいの市町村の配置状況について確認してみたいはいかがでしょうか。

#### ◆ 適切な医療・良質な介護の確保

認知症の診断を受けた方にはできるだけ早期に適切な医療が必要です。県内4箇所（村山、最上、置賜、庄内）に認知症の速やかな鑑別診断、専門医療相談、関係機関との連携等の役割を担う「認知症疾患医療センター」があります。また、認知症診断に関してかかりつけ医の相談役となる「認知症サポート医」を養成しています。（H29末現在59名）。その他、かかりつけ医、医療従事者、看護職員、歯科医師、薬剤師などの医療職向けの研修を開催し、認知症の早期発見等に努めます。また、認知症の進行に伴い、在宅での生活が難しくなった場合でも介護施設等において適切なケアが行われれば、行動・心理症状（BPSD）を予防することもできます。県では、「認知症介護実践者研修」をはじめとする研修を開催し、認知症ケアに関する正しい知識を持ち、良質な介護を担うことができる人材の確保に取り組みます。

## さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

### ～「臨床美術」で自分らしさの再発見 ～創作後の「鑑賞会」を楽しみました!!

8月8日（水）県内の認知症の人本人、家族、支援者と総勢30名の参加で臨床美術士の鈴木恵さんをお迎えして「臨床美術」体験をしました。創作に入る前「臨床美術」を体験することで期待される効果を鈴木さんからお話を伺いました。

期待される主な効果の一部ご紹介

- 表現し、受容されることによって意欲が増す
- 描く事、作ることが身近になる
- 発想力・集中力・コミュニケーション力の向上 など。

今回のテーマは花火・皆さんが自由に表現して創作している姿はとても生き生き！並んだ作品で楽しい会話と新たな自分を発見されていました。



—作品を並べて鑑賞会—

# 認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして

## 山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会庄内地区ブロック会

平成 28 年から大学生と一緒に『認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして』をスローガンに、市民の認知症への関心や理解を深め、認知症サポーター同士のネットワークを広げていくことを目的に活動してきました。それまで認知症カフェや勉強会などは開催されていましたが、参加してくれる方々は認知症に少なからず興味を持っている方々でした。今回の活動では、実際に自分達が街に繰り出し、認知症に対する理解・関心の有無に関わらず、様々な方へ声をかけ、興味を持って頂こうと考えました。実際の内容は、市民や商店などに認知症に関するアンケートの実施や認知症に関するパンフレットの配布、幼稚園児、小学生、保護者への紙芝居の読み聞かせを実施しました。また、同時に認知症高齢者の見守り協力を依頼し、依頼を受けてくれた方には見守り協力者ステッカーを配布しています。学生と一緒に活動した事で、学生自身の認知症への関心が深まり、グループホーム連絡協議会開催の行事にボランティアで参加していただいたり、学生主催の「認知症への理解、関心を深める企画」の発表会には市民の方も参加されており、「認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして」が一般市民の方にも、意識していただけのきっかけになったと思われます。しかし、我々福祉関係事業者が思っているより、一般市民の認知症に関する意識は低いと改めて感じる機会にもなり、今後の大きな課題と考えております。

文責 GH 連絡協議会庄内ブロック会事務局 佐藤 健

【お問合せ】 山形県認知症高齢者 GH 連絡協議会庄内地区ブロック会 会長 小林克司  
(コミュニティママ家 鶴岡市中田字追分 162-2 0235-55-5050)



## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

### 「山形県認知症カフェ情報交換会」ご案内

～利用者と共に作りあげていく居場所づくりのために～  
ブロック毎に運営者同士も顔見知りとなる情報交換会です。

～ 開催日程 ～

- 村山ブロック：10月4日 15：30～17：00 「さくらんぼカフェ」
  - 最上ブロック：10月17日 15：00～16：30 「最上総合支庁」
  - 庄内ブロック：10月24日 15：00～16：30 「庄内総合支庁」
  - 置賜ブロック：10月31日 15：00～16：30 「置賜総合支庁」
- (詳しくは各市町村と県内カフェ運営者にご案内のとおりです)

### 音楽療法とコーヒーの淹れ方講座



- 日時：11月8日(木) 13：30～16：00
- 場所：さくらんぼカフェ
- 内容：①音楽療法士・富樫さち子氏による出前講座  
②スターバックスによる「コーヒーの淹れ方」講座
- 申し込み：10/31(水)まで下記連絡先へお申込みください。
- 連絡先：山形県長寿社会政策課 斎藤 電話：023-630-2197



### カフェ情報

#### 最上町の「認知症カフェ」ご紹介

誰でも気軽に交流や情報交換ができる居場所として皆さんに利用を呼びかけています。

#### 「グループホームやまなみ」

日時：11月22日(木) 13：30～15：30  
場所：NPO 法人やまなみ ※参加費無料  
問合せ先：グループホームやまなみ  
電話 0233-43-4567 担当 大場

#### 「グループホームやすらぎの家」

第2回オレンジカフェ「ほっと♡やすらぎ」  
日時：10月29日(月) 9：30～10：30  
場所：交流会館(8区) ※参加費無料  
問合せ先：グループホームやすらぎの家  
電話 0233-43-3125 石山・伊藤  
※情報交換、エンディングノートの作り方等

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)  
電話・来所相談・カフェオープン月曜～金曜日 昼 12時～午後4時  
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。